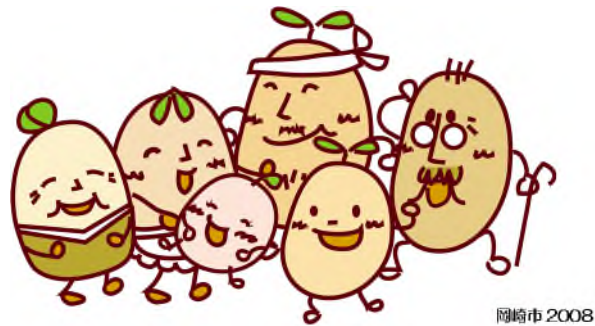


岡崎市母子保健計画の概要

岡崎市健やか親子 21：平成 15 年 3 月に主要な取組みを提示するビジョンとなる岡崎市母子保健計画を策定

健康おかざき 21 計画（2 次）：平成 16 年 3 月には岡崎市の健康増進計画として「健康おかざき 21 計画」が策定され、平成 18 年度には「岡崎市健やか親子 21」が「健康おかざき 21 計画」に包括され、ライフステージに合わせた健康増進計画として第 2 次（平成 26～34 年度）への取組みを開始している。

岡崎市母子保健計画：平成26年6月の厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知にて「健やか親子21（2次）」の趣旨を踏まえ、効果的な母子保健対策の推進を図るための母子保健計画を策定するよう示された。そこで、「健康おかざき21計画（第2次）健やか親子分野」から示された課題や指標を基本とし、「愛知県母子保健計画」を参考に岡崎市の現状が、県の現状値又は5年後の目標値を下回っているものと「健康おかざき21計画（健やか親子分野）」で策定時より最終時値が下回っているものを重点として策定

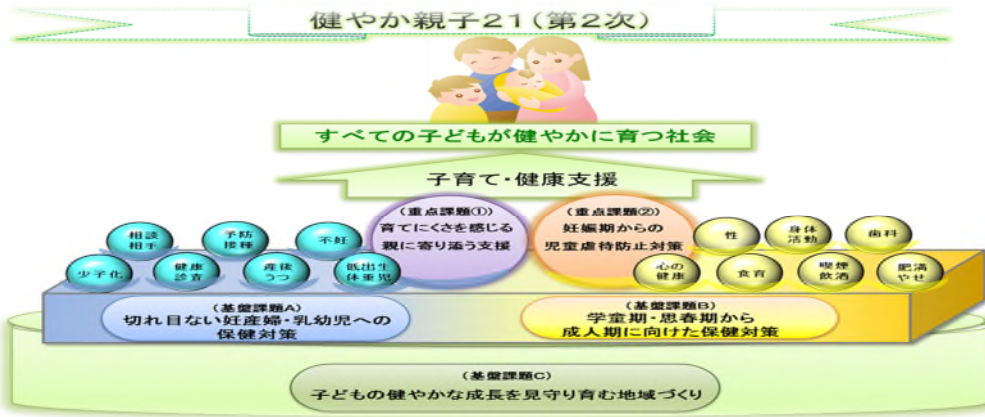


健康おかざき 21 計画 マスコットキャラクター まめ吉

「健やか親子 21（2 次）」で示された課題

「健やか親子 21（第 2 次）」で示された 3 つの基盤課題と 2 つの重点課題

基盤課題 A	切れ目ない妊産婦・乳幼児保健対策	16 指標
基盤課題 B	学童期・思春期から成人期に向けた保健対策	11 指標
基盤課題 C	子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり	8 指標
重点課題 1	育てにくさを感じる親に寄り添う支援	5 指標
重点課題 2	妊娠期からの児童虐待防止対策	12 指標



健康おかざき 21 計画（第 2 次）（平成 28 年度～平成 34 年度）

めざすべき姿：「健やかで心豊かなまち おかざき」

基本目標：健康寿命の延伸と健康格差の縮小

ライフステージに合わせた健康づくりの推進

生涯を通して健康的に生活できる

分野 2 栄養・食生活

1 日 3 食バランスよく食べる

分野 3 身体活動・運動

日頃からこまめに動く

分野 4 休養・こころの健康

睡眠による休養を十分にとる

分野 5 たばこ

たばこの健康への影響についての知識を持つ

分野 6 アルコール

アルコールについての正しい知識を持つ

分野 7 歯と口の健康

健口的な生活習慣を身につける

分野 8 健やか親子

生命の大切さを理解し、行動する

生活習慣病の発生予防
と重症化予防の徹底

自分の健康に関心を持ち、
生活習慣病の発症予防や早期発見・早期治療に向けて
行動できる

がん

心・血管系疾患

糖尿病

COPD
（慢性閉塞性心疾患）

基本目標達成の方向性

健康づくりを支える社会の構築

岡崎市母子保健計画（平成 28 年度～平成 34 年度）

めざすべき姿：「安心して子どもを生み、健やかに育てることができる」
～すべての子どもが 健やかに育つ社会～

I 切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策の充実

- ★ 取組みの方向性
安全・安心に妊娠・出産・育児ができるよう、妊産婦が抱える不安や、子育てへの相談支援ができる
- ★ 今後の取組み
○母子保健事業を活用した妊産婦の喫煙・飲酒防止対策、口腔衛生管理等の重要性を啓発
○妊娠届出時の全数面接、母子保健サービス等の情報提供、支援プランの作成と地域支援の実施
○母子保健事業を子育て支援の機会とし、保護者からの養育相談に応じ、安心、ゆとりを持ち子育てができる支援の実施

II 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実

- ★ 取組みの方向性
生命の大切さを理解し、行動することができる
- ★ 今後の取組み
○生命の大切さ・性に関する正しい知識を身につける

III 子どもの健やかな成長を見守り育む保健対策の充実

- ★ 取組みの方向性
地域全体で子どもたちの健やかな成長・発達を支えることができる
- ★ 今後の取組み
○事故防止対策の推進
○妊娠期からの児童虐待防止対策と乳幼児健康診査未受診者の把握と必要な家庭への支援の実施
○育てにくさを感じる保護者・育児不安が強い保護者等に寄り添う支援の実施